

# 脳卒中片麻痺患者に対する 急性期作業療法アプローチ

## 「4つの設定」で予後を変える最強メソッド

開催日：2026年4月26日(日) 10:00～16:00

2週間見逃し  
受講期間あり

会場：インターネット生ライブ中継

講師：松岡 耕史 先生(多摩丘陵病院リハビリテーション病院)

石川 哲也 先生(済生会神奈川県病院)

対象：急性期の評価・介入の実際を学びたい作業療法士・

急性期から作業療法の導入を促したい看護師・PT・ST(左記以外でも受講可)

受講料：会員 9,800 円(税込) 一般 12,800 円(税込)

今、会員になると  
年会費 4,900 円が無料  
実質 7,900 円 割引



### 「頑張ってるのに、なぜか成果が出ない…」 その原因、「設定のミス」かもしれません。



脳卒中リハビリで最も大切なのに、最も曖昧になりがちなのが「設定」。機能に合っていないアプローチの難易度設定や、高すぎるゴール設定など「設定の質」が、リハビリの成果を大きく左右します。この講座では、上肢の使い方や課題の負荷量、ゴールの立て方から環境構成まで、脳卒中片麻痺患者に対する“4つの設定”をエビデンスと実践からベテラン講師が徹底解説。日々のアプローチで、患者さんの予後を変える究極のメソッドを手に入れてみませんか？



### 脳卒中リハの成果を左右する “4つの設定”を臨床で使いこなそう！



#### 難易度設定

#### 上肢アプローチの難易度設定

- ・段階的負荷とは？  
リーチ動作の「ちょうどいい難しさ」を見極める
- ・手指か？ 肩か？  
運動単位の選択と“優先順位”のつけ方
- ・「できないからやらない」から  
脱却するための課題構成



#### 運動負荷の設定

#### どこまでかけて大丈夫？

#### 運動負荷の設定

- ・急性期の患者さんは常に疲れている？  
課題反復と休息の黄金比
- ・“麻痺だから軽く”はもう古い？  
中枢神経再建に必要な刺激量とは
- ・その体力で退院できる!?  
片麻痺患者に必要な運動耐容能の評価とアプローチ



#### ゴール設定

#### 患者さんを中心とした ゴール設定

- ・ADLができる、だけで終わらせない  
“意味ある作業”の抽出方法
- ・ゴールが遠すぎる？近すぎる？  
SMARTモデルを臨床に落とし込む
- ・“目標は本人の中にある”  
自己決定を引き出すコミュニケーション術



#### 環境設定

#### ここが作業療法の腕の見せ所！

#### 環境設定の実際

- ・環境が変われば動きも変わる！  
セラピストが整えるべき“5つの要素”
- ・どこに置く？どう配置する？  
3倍離床が進む環境デザイン
- ・家庭・施設で継続できる  
支援環境の構築と家族指導のコツ



※この講座は離床アドバイザー取得コースの理論1単位・学会認定資格更新10ポイントを取得することができます

申込方法

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・  
お申込先



日本離床学会

